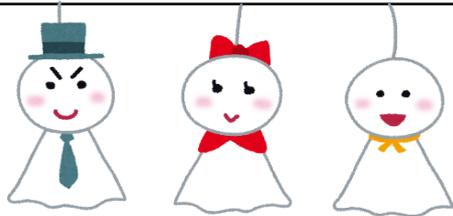


ほん しょうかい

おすすめ本の紹介



『ジェインのもうふ』

さく
作：アーサー・ミラー
え
絵：アル・パーカー
やく くりやがわ けいこ
訳：厨川 圭子
かいせいしゃ
偕成社



あか ころ だいす もうふ もうふ
赤ちゃんの頃から大好きだったピンクのふわふわの毛布。ジェインは毛布さえあれば
ごきげんでした。つきひ た おお はんたい もうふ ちい
月日が経ちジェインは大きくなり、反対に毛布は小さくぼろぼろに。
ちい もうふ て あんしん
それでもその小さな毛布を手にとると、ジェインは安心できました。
ひ ちい もうふ おも おやどり す つく ざいりょう
ある日、小さなピンクの毛布は、思いがけず親鳥が巣を作る材料になります。
もうふ と もど どう ころろ なか もうふ
ジェインは毛布を取り戻そうとしますが、お父さんは「ジェインが心の中で毛布を
おも だ もうふ さと
思い出すと、毛布はまたジェインのものになるんだよ」と諭します。
とり あか す なか きも ねむ そうぞう さび
鳥の赤ちゃんが巣の中で気持ちよく眠れることを想像して、ジェインは寂しかったけれど、
じぶん おお もうふ い うれ おも
自分が大きくなって毛布が要らなくなったことを嬉しいと思いました。
もうふ とお たいせつ おも し よ
毛布を通して、ものの大切さや思いやりを知ることができる読みものです。
や おな こ なつ きも
わが家にもジェインと同じような子がいて、懐かしい気持ちになりました。
ころろ かぞく おも で
心がほんわかする家族の思い出です。

(あんずさん)

『うちにあかちゃんがうまれるの』

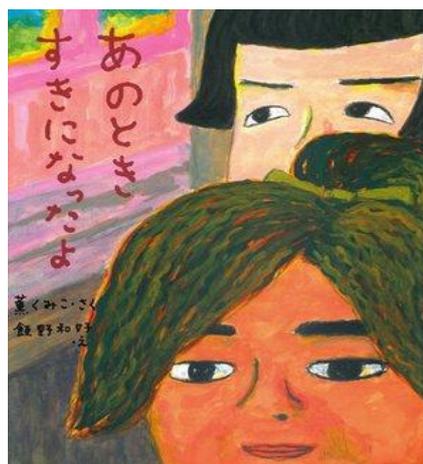
ぶん
文：いとう えみこ
しゃしん いとう やすひろ
写真：伊藤 泰寛
しゃ
ポプラ社



ほん さくしゃ かあ とう ちゅうがくいちねん
この本の作者のえみこお母さん、やすひろお父さん、中学 一年のちひろくん、
しょうがくよねん しょうがくいちねん かぞく
小学 四年のたくみくん、小学 一年のまなかちゃんの家族。
むか たんじょう かぞく みまも じたく しゅっさん
みんなで迎えるいのちの誕生。家族に見守られながら自宅出産。
たんじょう いのち はは とお ぬ う
そらとくんの誕生。命がけで母のからだを通り抜けて生まれてくる。
さくしゃ かた
それは「いきよう」とする、いのちそのものと作者は語る。
あたう いのち むか おも つた
新しく生まれてくる命を迎えるという思い、ぬくもりを伝えられたらと、
とう かあ にんしんちゅう しゃしん と
お父さんカメラマンが、えみこお母さんの妊娠中から写真を撮りためたそうです。
ま ま いのち たんじょう わたし
待ちに待った命の誕生、ぼくも私も、そう・・・あなたも。 (なるなるさん)

『あのときすきになったよ』

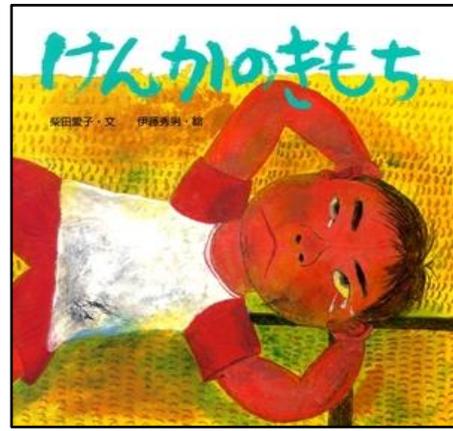
さく くん
作：薫 くみこ
え いいの かずよし
絵：飯野 和好
きょういく が げき
教育画劇



かお
いつもおこったみたいな顔をしていて、おしっこをもらしてばかりのきくちさん。
なか
わたしはときどきこころの中で「しっこさん」とよんでいます。
やす
休みじかに ケンカをしたり、きくちさんのことぜんぜんすきじゃなかったのに、
すこ
いつのまにか少しずつすきになっていきます。
ひ
そしてある日、しょうげきてきなできごとが・・・
ひと ひと
あなたのまわりに、あまりすきじゃない人はいませんか。でもその人のことを
し
もっとよく知ると、とってもすきになるかもしれませんよ。 (オレンジさん)

『 けんかのきもち 』

ぶん しばた あいこ
文：柴田 愛子
え いとう ひでお
絵：伊藤 秀男
ポプラ社



ぼくは、たい。一番の友達^{いちばんともだち}は、こうた。ある日^ひ、たいとこうたはつかみ合いの
けんかをする。こうたは強い^{つよ}。しりもちをついたたいは、泣きながら家^{いえ}に帰った。
帰^{かえ}ってからも泣きたい気持ち^{な きもち}がなくなる^なない。

おやつを一緒に^{いっしょ}食べようと、みんながさそい^くに来る。たいは、絶対^{ぜったい}行かないと
おもっていたのに^{おも}……。「ごめん^{こえ}な」こうたの声。

なんで謝^{あやま}るんだよ！けんかのきもち^おは終わってない！

仲^{なか}の良い友達^{よともだち}とけんか^{こころ}をすると、心のモヤモヤ^とがなかなか取れ^とませんよね。

たいの、そんな気持ち^{きもち}がとてもわかります！

はたして、たいとこうたは仲直り^{なかなお}できたのでしょうか？ (なるなるさん)

『あいたくて あいたくて』

さく え
作・絵：みやにし たつや
じょし かい
女子パウロ会



あるところに、いじわるばかりする きらわれもののおおかみ^{おおかみ}がいました。
とうぜんおおかみにはともだち^{ひとり}が1人もいません。いつもひとりぼっちのおおかみに、
ついにケムシのともだち^{まいにち}ができました。おおかみとケムシは毎日とてもたのしく
すごしていましたが、ある日^ひとつぜんケムシはいなくなりました。おおかみはケムシに
とてもあいたくて、心^{こころ}をつくしていのりました。

さて、おおかみとケムシはさいかいできるのでしょうか。おおかみの、ケムシにあいたい
気持ち^{きもち}を思わずおうえんしたくなるお話^{おもしろ}です。 (オレンジさん)

『ぼく「お兄ちゃん」なんだから』

さく しみず
作：清水 なほみ
クローバー出版

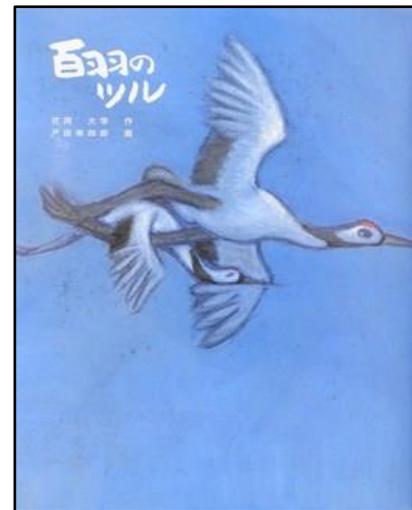


お兄ちゃんってガマンしないといけないの？いつも頑張っているお兄ちゃん(お姉ちゃん)、
でもうまくいきません.... “泣いてもいいよ” “失敗してもいいよ”
“怒ったっていいよ” “いつでもお兄ちゃんやめていいんだよ” お家にお兄ちゃん
(お姉ちゃん)が居る保護者の方々も、お子さんと一緒に読んで寄りそってみてくださいね。

(かゆぼみさん)

『百羽のツル』

ひやっぱ
さく はなおか だいがく
作：花岡 大学
が とだ こうしろう
画：戸田 幸四郎
とだ けんきゅうしつ
戸田デザイン研究室



百羽のツルが、北のはての、さびしいこおりの国から、昼も夜も、やすみなしに、
とびつづけてきました。ゆくさきは、まちにまっていた、きれいなみずうみのほとり。
「もう、あとひといきだ。みんな、がんばれよ。」

しかしそのとき、いちばんうしろからとんでいた、小さな子どものツルが、下へ下へと、
おちはじめました。

びょうきだったことをないしょにしていた、ここまでついてくるのも、やっとだったのです。

小さな子どものツルは、はねが、うごかなくなってしまう、下へおちはじめましたが、

みんなにたすけをもとめようとはしませんでした。なぜ、小さな子どものツルは、

たすけをもとめようとはしなかったのか、そして子どものツルの様子に気付いた九十九

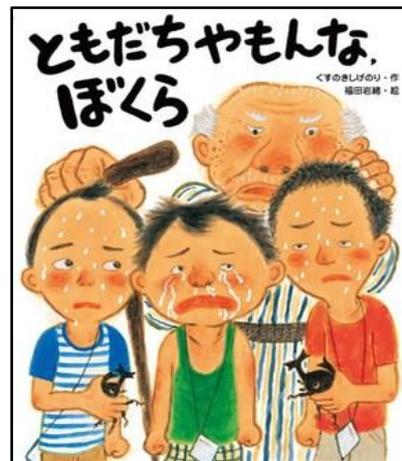
羽のツル達のとった行動は…あたりまえのようにお互いを思う気持ち、やさしさに

心打たれる一冊です。

(ミントアイスさん)

『ともだちやもんな、ぼくら』

さく
作：くすのき しげのり
え ぶくだ いわお
絵：福田 岩尾
かぶしかいしゃ もり
株式会社 えほんの杜



なかよし3人ぐみの「ぼく」「マナブ」「ヒデトシ」、夏休みのラジオ体操のかえりにカブトムシのいる木にのぼっていると、『こらあっ!』、(#`Д´)なんとカミナリじいさんに見つかった! ぼくらはこけたヒデトシをおいてにげ出します。でもいつまでもこないヒデトシがしんぱいで、マナブともどってみるのですが....

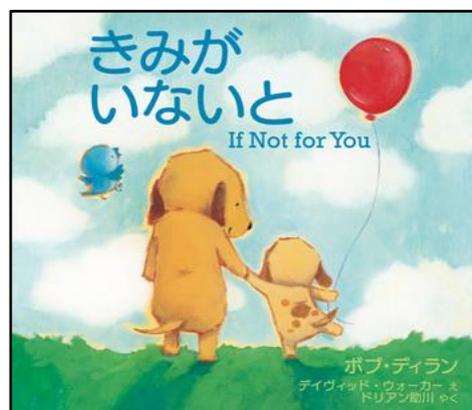
夏休み、ともだちとおとなとのステキな友情ものがたりです。 (かゆぼみさん)

『 きみがいないと』

If Not for You

さく
作：ボブ・ディラン
え
絵：デイヴィット・ウォーカー
やく すけがわ
訳：ドリアン助川

イマジネーション・プラス



もし きみがいないなら かなしくなっちゃう おちこんじゃうよ

いちぶいんよう
(一部引用)

きみに対するせつなるむきだしの気持ち、わかりやすくシンプルな言葉でつづられている絵本です。だからこそ、ストレートに心に響くのでしょうか。

「きみにいてほしい」という強い想いと飾らない愛情の表現に心をゆさぶられます。

また、可愛らしいイラストには癒されてしまいます。

・ ・ きみ という部分を、自分の大切な人たちや、何かに置き代えて考えてみてもいいかも

しれません。

気持ちを伝えること、表現することの大切さ、誰かにとって きみ はいてほしい存在、

そしてまわりにいる人も誰かにとっての大事な存在なんだということに気付いたり、

感じてほしいなと思います。

(あずきさん)

『いのちの木』

さく え
作・絵：ブリッタ・テッケントラップ
やく もりやま みやこ
訳：森山 京
ポプラ社



もり す なかま どうぶつ しあわ く
森に住むキツネは、仲間の動物たちと幸せに暮らしていましたが、
とし と よわ よこ
年を取り、からだ弱ってきました。キツネはそっとからだを横たえます。
わか とき ちか どうぶつ すわ
別れの時が近づいたのです。動物たちがきつねのまわりに座りました。
だれ だいす
誰もが大好きだったキツネ。そのキツネがいなくなってしまうなんて・・・。

たびだ
やがてキツネは旅立ちます。

どうぶつ すわ こ むね おも で
動物たちは、だまって座り込んでいましたが、それぞれの胸にキツネとの思い出が
う ゆうや とも
浮かんできたのです。夕焼けをながめたり、おにごっこをしたり、キツネと共に
す じかん おも かえ
過ごした時間を思い返していたのです。

よこ ゆき した め で
そのころ、きつねが横たわっていた雪の下から、オレンジの芽が出てきました。
め おも で かた すこ の
オレンジの芽は、キツネの思い出が語られるたびに、少しずつ伸びていったのです。
き おお りっぱ き ともだち いのち ちから
キツネの木は大きく立派になりました。木はキツネの友達すべての命の力、
い ささ
生きる支えとなったのです。

とくべつ ひと ところ なか い つづ
あなたにとって特別な人、きっと心の中に生きていますね。

(なるなるさん)

わたし だれ
クイズ 私は誰でしょう？
ともだち へん
友達 編



第1問

- わたし
① 私はクマのぬいぐるみです。
- わたし だいす あか
② 私は はちみつが大好きで、赤いシャツがトレードマーク。
- わたしからだきいろ いろ
③ 私の体は黄色い色をしています。

第2問

- わたしがね しょうがくせい
① 私は眼鏡をかけた小学生です。
- わたしべんきょうんどう ながて てん
② 私は勉強と運動がちょっと苦手です、よく0点を
おこ
とってママに怒られます。
- わたしみらい き しんゆう
③ 私は未来から来たロボットの親友と
く
暮らしています。

『あおいアヒル』

さく
作：リリア
やく まえだ
訳：前田 まゆみ
しゅふ ともしや
主婦の友社



ママ おぼえてる？
この あおい いけ。
はじめて であった ときの こと…

あおいアヒルは小さななきごえに気づきました。いたのは、ワニのあかちゃんでした。
「ママあー！！」赤ちゃんワニは、あおいアヒルのあしにしがみついて、はなれません。
赤ちゃんワニのママになったあおいアヒルは、赤ちゃんワニをだいじにまもりました。
みるみるうちにおおきくそだったワニをみて、あおいアヒルは、うれしくいつも
あんしんでした。

けれど、あおいアヒルは、いろいろなことをわすれるようになり、ワニのことも、
わすれるようになってしまいます。

「こんどは ぼくが まもるから」

親と子の関係性が少し変わってしまっても、お互いを思う気持ちは変わらない。
普段、忘れてしまっている気持ちを思い出させてくれる絵本です。

(ミントアイスさん)

わたし だれ
クイズ 私は誰でしょう？
かぞく へん
家族 編



第3問

- わたし りょうり た だいす
① 私たちは お料理すること、食べることが大好きな
の
野ねずみのふたごのきょうだいです。
わたし あお あか ぼうし
② 私たちは 青と赤のつなぎと帽子がトレードマーク。
もり おお たまご も
③ 森で大きな卵をみつけたので フライパンを持ってきて
た おお
食べきれないくらい大きなカステラをつくったよ！

第4問

- わたし かぞく ゆうじん たに
① 私は家族や友人たちといっしょに、とある谷で
く
暮らしています。
わたし み め
② 私の見た目はカバににっていますが、海外で
う ようせい
生まれた妖精です。
わたし くろ
③ 私のパパは黒いシルクハットをかぶっています。

い す
『生きものたちのつくる巣109』

ぶん え すずき
文・絵：鈴木 まもる

エクスナレッジ



つくられた住まいの中に生活しているのは、私たち人間だけではないんです。

みなさんのまわりにいる生きものたちも、それぞれに合った住まい（巣）をつくって生活しているんですよ。ボールのように丸い形、野菜のレタスのような形、高さのある塔のような形、水中ではあぶくで出来たものまであるんです。

住んでる場所や、生きもののおおきさ、特徴によって、多様な材料で形作られていきます。

なぜ、そんな構造（つくり）になっているのか、理由や作り方、断面図も書いてあり、

きっとみなさんが想像もしなかった面白い世界を見ることが出来ると思います。写真

ではなく、全てイラストというところも絵本の魅力です。

登場する生きものは、鳥、昆虫、水中生物など。（鳥率高めです。）懸命につくり、

生きている生きものたちのけなげさに、いつしか癒されてしまっていますよ。

（あずきさん）

『 ハグくまさん 』

さく
作：ニコラス・オールランド

やく おちあい けいこ
訳：落合 恵子

クレヨンハウス



だいす えほん
大好きな絵本です。

なんにでもハグしちゃうくまさんのお話。実際に全ての人、物にハグ出来るわけでは

ありませんが・・・でも心の中でハグ！

相手に思いを馳せ繋がる時間、そんな瞬間ってとても素敵だなあっておもわせてくれる

いっさつ
一冊です。

（chocoさん）

『いのちつぐ「みとりびと」 (1)』

恋ちゃん はじめての 看取り—おおばあちゃんの死と向きあう—

しゃしん ぶん くにもり やすひろ
写真・文：國森 康弘

のうさんぎよそんぶんか きょうかい
農山漁村文化協会

ねんせい れん だいす
5年生の恋ちゃんは大好きなおおばあちゃんと

かぞく す
家族で 住んでいました。

さい
おおばあちゃんは92歳。

げんき はたけごと
元気に畑仕事をしていたおおばあちゃんも

きゅう よわ で
急にからだが強くなり、ふとんから出られなくなってしまいました。

みと
看取りって？

たいせつ ひと いき ひ とたびだ よそ
大切な人が息を引き取るその「旅立ち」のとき、そばに寄り添い、

かんしゃ わか か
感謝と別れを交わすことです。

れん い おも
恋ちゃんは、いつものようにあいさつをしに行こうと思ったら、

な おし
おおばあちゃんが亡くなったって教えられた。

だいす なみだ
大好きだったおおばあちゃん。・・・涙があふれる。

だいじ
「ずっと大事にしてくれて、ありがとう」

みと れん
おおばあちゃんを看取った恋ちゃん。

こころ なか い つづ ぶんめんようやく
おおばあちゃんは心の中で生き続けている。(文面要約)

ほん ひっしゃ くにもりし しゃしんか
この本の筆者である國森氏は写真家でジャーナリスト。

ひと う で とき たいせつ ひと みと とき
「いのちのバトン」人が生まれ出る時、また大切な人を看取った時、バトン

う と じぶん じしん し むか とき う つ せいめいりよく あいじょう
受け取りやがて自分自身が死を迎える時、それまで受け継いだ生命力と愛情

う わた
というバトンを受け渡していく・・・。

しあわ せいし つた さつえい どうこうしゅざい
「あたたかで幸せな生死を伝えたい」と撮影、同行取材している。

(なるなるさん)



【クイズの答え】

だいもん だいもん だいもん だいもん
第1問 くまのプーさん、 第2問 のび太くん、 第3問 ぐりとぐら、 第4問 ムーミン

